

**アジア地域における半導体材料ガスの製造能力増強のお知らせ**

日本酸素ホールディングス株式会社（社長 CEO：濱田 敏彦）は、日本、韓国、中国において、電子材料ガスであるジボラン（ $B_2H_6$ ）ガスの製造能力を 2023 年末までに順次増強することを決定しましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 背景

ライフスタイルの変化、5G、IoT の普及によるデータ通信量の増加や自動車向け半導体需要の増加などを背景に、半導体デバイスの需要はますます増加しています。当社が製造するジボランガスは、ロジック（演算素子）、メモリ（記憶素子）から、ディスプレイ（個別半導体）まで、幅広い半導体デバイスの製造において不可欠な材料であり、半導体メーカー各社の製造能力の増強に合わせてその需要が急激に増加しています。

当社は、顧客である半導体メーカーの需要の伸びに対応すべく、これまでも“トータルエレクトロニクス”の戦略に基づき、日本国内のみで製造していたジボランガスを、韓国、中国でも製造を開始し、その供給能力を増強してまいりました。今後も、特にアジア地域における需要の伸長が見込まれるため、さらなる投資を進めることで半導体メーカーの需要増に応えていくことはもちろん、グローバルサプライチェーンの強化も進めてまいります。

## 2. 製造能力増強の内容

増強拠点	完成時期	概要
日本：大陽日酸	2023 年末	各拠点で製造能力を倍増する
韓国：Matheson Gas Products Korea	2022 年上期	
中国：揚州大陽日酸	2023 年末	

## 3. 備考

[半導体製造における主なジボラン（ \$B\_2H\_6\$ ）ガスの用途・関連用語解説](#)

以上

お問い合わせ先  
**日本酸素ホールディングス株式会社**  
広報部  
03-5788-8513